

の活動に関する研究を募集する。なお、新規課題の採択においては、公衆衛生行政の実施に資する研究を優先する。

また、一定の条件（後述）に該当する若手研究者が主体となって上記のいずれかに該当する研究を実施する場合、またはそれ以外の研究であっても地域健康安全の基盤形成に資する研究を行う場合には、若手育成型の研究として応募することも可能である。

（２）水安全対策研究分野

国民に対し安全・安心な水を安定的に供給していくために、最新の科学的知見を踏まえた水道水質基準等の逐次見直しのための研究及び異臭味被害対策強化研究を募集するとともに、水道システムに係るリスク低減対策研究、水の利用等が疾病予防等に果たす役割に関する研究及び気候変動に対応した水道の水量確保も考慮した水質管理手法等に関する研究を引き続き実施する。

（３）生活環境安全対策研究分野

建築物や生活衛生関係営業に係る生活衛生については、その適切な保持が行われない場合、①短時間に重症の健康被害が大量に発生する、②同時期に複数の者が非特異的な健康被害を訴える、③早期に対応がなされないと、危機的状況を招く恐れがある等、健康危機管理に直結するものであり、これらの健康危機の未然防止及び発生時に備えた準備及び発生時の適切な対応等に関する研究を推進する必要がある。

そこで、生活衛生関係営業における衛生的環境の確保に関する研究、その他生活衛生が人体に及ぼす影響等の研究を採択する。

（４）健康危機管理・テロリズム対策研究分野

新興再興感染症やテロリズムといった健康危機事態に対しては、「第3期科学技術基本計画」において「テロリズムを含む健康危機管理への対応に関する研究開発」が重要な研究開発課題として挙げられている。その中で、平成22年までに、NBCテロ・災害への対応体制運用の強化や効率化、除染・防御技術の改善、対策資材の開発や備蓄の効率化等、対策の強化や効率化に資する基盤技術やオペレーション手法の開発にかかる研究体制整備を実現することが研究開発目標とされ、平成27年までに、国内外の健康危機管理に関する対策知見や基盤技術情報がNBCテロ・災害への対応を含む健康危機管理体制に適切に反映できる体制を整備することが成果目標であり、その目標達成に向けて研究事業を推進していく方針である。また、世界保健機関（WHO）による改正国際保健規則（IHR2005）では、「原因を問わず、国際的な公衆衛生上の脅威となりうる、あらゆる事象」に関する情報は、有効な対策に繋げるために加盟国で共有することとしている。

大規模健康危機時及び広域災害時における国民の安全・安心と健康の確保のためには、健康被害をもたらす異常事態を早期に見出し、迅速に対応することが重要である。そのためには、国内外の動向を踏まえた、健康危機管理対策のためのサーベイランスシステム、及びテロリズム対策の改善が不可欠である。また、万一健康被害が発生した場合の対策として、初期対応ができる適切な医療体制の整備も不可欠である。本研究分野では、以上の二点について重点的に研究を推進することとし、研究を募集する。

研究費の規模 : 1 課題当たり

研究分野（１）	①～②	10,000千円	～	15,000千円程度	（1年当たりの研究費）
	③～④	5,000千円	～	10,000千円程度	（1年当たりの研究費）
	⑤～⑥	3,000千円	～	5,000千円程度	（1年当たりの研究費）
	（若手育成型）	3,000千円	～	5,000千円程度	（1年当たりの研究費）

研究分野（２）	①	40,000千円 ～ 60,000千円程度（１年当たりの研究費）
	②	5,000千円 ～ 10,000千円程度（１年当たりの研究費）
研究分野（３）	①	15,000千円 ～ 25,000千円程度（１年当たりの研究費）
	②	5,000千円 ～ 10,000千円程度（１年当たりの研究費）
研究分野（４）	①(ア～イ)	3,000千円 ～ 8,000千円程度（１年当たりの研究費）
	②(ア～ウ)	3,000千円 ～ 8,000千円程度（１年当たりの研究費）

研究期間	：	研究分野（１）【一般公募型】	①～⑥	2～3年程度
			【若手育成型】	2～3年程度
		研究分野（２）	①	3年程度
			②	1～3年程度
		研究分野（３）	①～②	2～3年程度
		研究分野（４）	①(ア～イ)	1～3年程度
			②(ア～ウ)	1～3年程度

新規採択課題数	：	研究分野（１）	【一般公募型】	各1～2課題程度
			【若手育成型】	1～2課題程度
		研究分野（２）	(ア～イ)	各1課題程度
		研究分野（３）	(ア～イ)	各1課題程度
		研究分野（４）	①(ア～イ)	各1課題程度
			②(ア～ウ)	各1課題程度

※研究費の規模、研究期間、新規採択課題数の番号等は公募研究課題の番号等と対応している。

<公募研究課題>

（１）地域健康安全の基盤形成に関する研究分野

【一般公募型】

① 地域健康安全を推進するための人材養成・確保のあり方に関する研究

（２２２６０１０１）

課題採択に当たっては、地域健康安全の第一線機関である保健所等の職員（医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、管理栄養士、事務職等）の資質・能力を向上させるための教育研修手法を開発するとともに、地域健康安全の将来を担う公衆衛生医師等の専門職及び地域健康安全に貢献するボランティアの養成・確保の方策を検討することを目的とし、研究組織は多職種から構成し、個別の専門職だけでなく、行政職員の現任教育及びすべての専門職の卒前・卒後教育、ボランティアに対する教育研修プログラムを含む、人材養成・確保システムの構築を目指す研究を優先する。

② 健康危機事象の早期探知システムの開発・普及に関する研究

（２２２６０２０１）

課題採択に当たっては、地域において発生するあらゆる健康危機を早期に探知するために、保健医療情報をはじめとする各種情報を網羅的・体系的に収集・分析・評価するシステムを開発・普及するための具体的な方策を明らかにすることを目的とする。既存の情報収集では到達できないことを可能にする新たな手法で、且つ自動的な情報収集が可能で、費用面においても実行可能な、全国レベルの早期探知が可能なシステムを構築する研究であって、実際に運用した場合にシステムの評価を行うことのできる研究を優先する。